

科目内容

領域	自立に向けた介護実践の指導領域
科目名	地域における介護実践の展開
教育目的	<p><以下の能力を持つリーダーを育成する></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域における介護職チームの位置づけを理解し、利用者が地域での生活を継続するための支援を展開する能力の開発と育成。 ・ 施設・事業所が地域拠点としての役割を果たす支援を展開する能力の開発と育成。 ・ 介護サービスマネジメントを実践し、提供するサービスの質の向上を図る能力の開発と育成。 ・ 地域におけるボランティア、家族介護者、介護福祉士等への介護に関する助言・支援が行えるような、地域とかかわる能力をの開発と育成。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の生活を継続するため、他職種を巻き込んだ見通しの立った計画（アクションプラン）を立てる能力を開発することができる。 ②地域の生活を継続するために、他職種に自立に向けた生活支援を指導できる能力を開発することができる。 ③他職種を含む介護連携チームに事例検討を実施できる能力を開発することができる。 ④伝える、伝わるプレゼンテーションを実践できる能力を開発することができる。 ⑤地域における認定介護福祉士の役割（①～④の役割）が実践できる。
時間数	30時間
含むべき内容	<ul style="list-style-type: none"> ○地域におけるそれぞれの介護実践を理解し、地域において利用者を継続的に支えるための支援を展開していくためのポイント <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者が地域で生活する意義 ・ 利用者にとっての最適な場を考えた支援 ・ 最期まで地域での生活を継続するために必要な視点の共有 ・ 地域に戻るために必要な施設ケアの見直し ・ 在宅での生活維持のためのケアの見通しを立てる ・ 地域で生活を継続するために必要な視点と支援方法 ・ さまざまな地域資源の活用 ○介護職チームとして、ケアカンファレンスを適切に実施し、提供するサービスの質を向上するための指導や環境整備を行うための留意点 ○地域の介護力の向上を図るための役割 ○地域における住民等の尊厳が保障され、豊かな生活を送れるような地域社会をつくるための啓蒙的役割
留意事項等	○講義と演習によって研修を展開する。
課題学習の可否	全部可・一部可・否
修了評価の方法	・ 受講後、各職場において、地域等の住み慣れた場、利用者にとって最適の場（施設から在宅復帰、または施設利用も視野に入れた在宅での生活支援の見通し）においての、自立した生活を送るためのアクションプランの作成と実施計画を作成し、実践経過をパワーポイントにまとめ、発表までの一連を評価する。

	<p>【評価の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標や評価の視点がしっかりと記述されている。 ・ チームでのケアの視点で考えられている。 ・ 現状でのケアスタッフの力量について理解した上で、ケアスタッフ技術等の向上のための研修等が体系立てて組まれている。 ・ 周知のための可視化などの工夫が盛り込まれている。 ・ 在宅なら在宅、施設なら施設と場を限定せず、さまざまな資源を利用し、常に利用者の希望、利用者にとっての最適の場での生活のためにアクションプラン作成、実施計画となっているか評価する。
受講要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「応用的生活支援の展開と指導」を修了していること
講師要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験があること ・ 修士課程を修了している介護福祉士であることが望ましい ・ 当該科目に関連した講義を実施した経験のある認定介護福祉士が望ましい